



# まちさぽ ～夏号～



平成 26 年 7 月 29 日 No.32  
編集・発行 東久留米まちづくりサポートセンター  
桑原 042-476-1515

## 夏号のラインナップ

- まちづくりサポートセンター活動報告～全体会（25 年活動報告）～
- 頑張ってます！地域の底力！『ひがしくるめ邦楽企画』
- まちさぽ近況アラカルト
- お知らせ（まちさぽ今後の活動等について）



## まちづくりサポートセンター活動報告

### ～全体会（25 年活動報告）～

平成 26 年 5 月 10 日（土）に、まちづくりサポートセンター全体会を開催しました。この全体会には市民 15 名が出席されました。

全体会は、総会に相当する第 1 部と、市民の皆さまからのご意見・ご要望を聞く第 2 部とに分けて行ないました。

#### 第 1 部

##### ～委員長・生活文化課長挨拶～

桑原委員長より まちづくりサポートセンターの設立時の話と市民と行政の協働による「まちづくり」の機能を発揮させるため、運営委員会が設置されていることなどの説明がありました。また、生活文化課の菅原課長からは第 3 次長期総合計画のもと「まちさぽ」が作られ、市長も地域とのつながりを大切にする市政を掲げているので、「まちさぽ」の役割は今後も必要になり、行政も一緒に活動していきたいとの挨拶がありました。



##### ～25 年度活動報告～

平成 25 年度に「まちさぽ」が市民と一緒にに行った活動についての報告をしました。



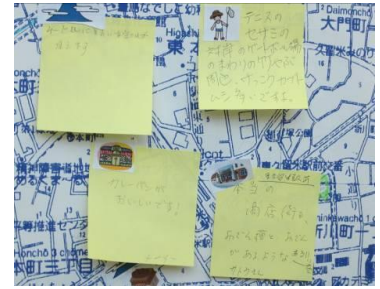
#### 各イベントへの「参加」



- ▼第 7 回市民プラザ夏まつり ▼第 4 2 回くらしフェスタくるめ
- ▼くるめボランティア・市民活動フェスタ 2014、に参加し
- 「みんなでつくろう!! 口コミ・お気に入りマップ」と題して、東久留米の巨大地図（BIG MAP）を貼り出し、来場者に市内のお気に入りスポットをシールやコメントを書いた付箋紙を貼り付けても

らい、わがまちの特色あるところに気づいていただきました。

イベントでは、来場者の方との交流の場となり一般化された東久留米の情報だけでなく、市内の魅力ある情報が収集できました。



巨大地図（BIG MAP）の取り組みをとおして、東久留米の魅力を見直し、みんなで情報の共有や実感できる仕掛けとして有効であることが分かりました。



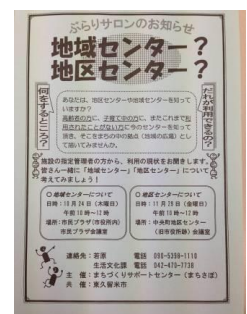
「サロン」

▼ぶらりサロンでは、地区センター、地域センターについての利用アンケート、パネル展示を実施しセンターの状況を知ってもらいました。

▼つながりサロンでは、住み続けられ、次世代に誇れる東久留米にしたいとの思いのある人が、つながる場を定期的に持ちました。その際に出会った方やお気に入り・おすすめ情報を持ち寄る方が定期的にサロンに参加するようになり広がりを見せています。



つながりサロン チラシ



ぶらりサロン チラシ

## 第2部 ～参加者からの声～



下町で生まれ育った。20数年前滝山地区に越してきた。西部地域センター（滝山地区センター）では住民がぶらっと立ち寄ってお茶を飲みながら話ができているが、最近無くなりその様な場を求めています。



6月の環境フェスティバルで「エコ自慢」を紹介する企画がある。まちさぼのビッグマップに「エコ」に取り組んでいるところを載せてほしい。情報は発信を早くしないと集めた情報自体が古くなってしまふ。紙媒体で知らせていくこともできるのではないのでしょうか。

おしゃべりカフェ（市民グループかりん）6月8日午後1:30より男女平等推進センターにて。夏期の第3土曜日午後「いこいの水辺」でボランティアグループによる川遊びや河川の清掃活動がある。環境フェスティバルで不要または壊れた陶器を集め窯元へ送り再び陶器として再生させる活動をします。

などご意見やご紹介がありました。参加された皆様ありがとうございました。（記：若原・川本）

シリーズ

# 頑張ってます！地域の底力！

-第6回-



市内の子どもたちが、一生懸命三味線を弾く姿に感動して、インタビューの計画をいたしました。教育委員会へ寄付された三味線を自費で修理し、ほとんどは自分の楽器を使用して、子どもさん達に日本の伝統的な楽器、三味線を伝えようと活動されているボランティア団体「ひがしくるめ邦楽企画」代表の片山ミドリさんにお話を伺いました。

## Q:「ひがしくるめ邦楽企画」のこれまでの経歴(なぜ立ち上げようと思ったのですか)

子どもたちに日本の伝統である邦楽を伝えていきたいと思い、それを地域に関わりながら、どう繋げていったらいいかと考えていました。子どもに伝えるためには、まず学校の先生に理解して頂きたい。そんな思いの中、2001年、第3小学校から始まり、市内の小学校の先生から音楽室を使用したらと提案して頂き、各学校へと繋げて下さいました。先生から子どもへ、そして大人へと繋がっていき、文化庁の「伝統文化子ども教室」という事業から助成金を受けたこともありました。とにかくできる事から始めようと思い、徐々に広がっていきました。



## Q: どういった活動をしていますか。

三味線は70挺ほどありますが、多くは自分の所有のものです。第7小学校には10挺ほどを置かせて頂いています。稽古場には自宅から三味線を運んで行って、子ども達や大人の方々と練習をしています。昨年は7つの小中学校で活動し高齢者施設への訪問も行いました。独自の発表会は勿論のこと、市の文化祭をはじめ、くるめボランティア・市民活動フェスタにも参加し、参加者のための三味線の体験プログラムも開催して、三味線をより多くの人に知ってもらおう活動を続けています。子どもたちは1曲仕上げると自信が付いて、楽しさがわかってくるようです。

大人にとっても、指を使うので脳の活性化にも繋がりととても良い効果がでています。

## Q: 今後の目標ややりたいことはなんですか。

今年も小中学校の邦楽授業、子ども三味線教室、第2回ゆかた会(発表会)、大人の教室・市の文化祭、邦楽連盟30周年演奏会など計画しています。そのときに出来る事をしていこうと思っています。

学校で活動をしているのは、子どもたちがあまり目にしたことのない楽器なので、音を聞き、何をしているのかなと興味を持ってくれたらいいです。子どもたちがこの活動を手伝いながら、成長して学業とは別に地域の活動に参加できていくといいなと思っています。

連絡先：042-424-4707 片山さん



## まちさぽ近況アラカルト

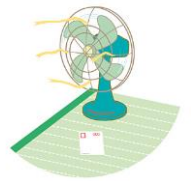
桜色から青葉目にしみる5月10日、東久留米まちづくりサポートセンターの全体会が男女平等推進センターの会議室で開催されました。

冒頭、桑原委員長の挨拶に続き、生活文化課の課長から協働のまちづくりへのエールをいただき、フレキシブルな姿勢に期待をふくらませております。次に昨年度の事業報告、会計報告、26年度事業計画・予算案報告、新役員への引継ぎをおこないました。また、参加者との対話を通して、今後の活動への貴重なご意見をいただきました。

今年度の活動として、市民のコミュニケーションの拠点となる「まちさぽサロン」では、“ビッグMAP”を通して市民同士の意見交換の場を運営したり、“ロコミお気に入りMAP”のプロジェクト化を支援したりします。近々市内で開催される各イベントへの参加や、まちさぽ通信では「頑張ってます！地域の底力！」として、各分野で活動しているグループを紹介してまいります。

8月のサロン・運営委員会は休会となりますが、まちづくりを頑張っている市民の皆様、向暑の折一層のご自愛くださいませ。

副委員長 山本 恵次



## お知らせ



### まちさぽサロン日程

- 実施日：8月お休み  
9月20日（土）  
10月18日（土）
- 会場：男女平等推進センター
- 時間：13：00～15：00 サロン  
15：00～17：00 マップ作成



### 『地域コミュニティを考えよう』

- 実施日：9月29日（月）（予定）
  - 会場：野火止地区センター（予定）
  - 時間：10：00～11：50（予定）
- 野火止地区センターを利用されている方（団体）といっしょに地区センターを使って元気がなくなった地域コミュニティを再生させるため知恵を出し合う機会を設けます。



### まちさぽの予定

- まちづくり学習会を予定しています。
- 11月29日（土）、30日（日）  
くらしフェスタ（参加）
- 2月14日（土）  
ボランティア・市民活動フェスタ  
2015（参加）



— お詫び —

平成26年4月7日発行No. 31のまちさぽ通信の記事について、一部誤りがありましたので修正し「平成26年4月23日発行No. 31」として再発行させていただきました。

関係者の皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。今後はこのようなことがないよう、編集委員一同努力いたします。

東久留米まちづくりサポートセンターの活動内容等は、東久留米市コミュニティサイト「くるくるチャンネル」  
<http://kuru-chan.com>に掲載しています。是非ごらんください。